

筑波医療科学

Tsukuba Journal of Medical Science

On-Line Journal

URL <http://www.md.tsukuba.ac.jp/public/cnmt/Medtec/journal.htm>

TJMS 2015; 11(2): 1-4

～ Departure ～ 新たなる旅立ち



平成 26 年度 医療科学類
学位授与式

平成 27 年度 筑波大学
履修証明プログラム



筑波医療科学 第11巻 第2号

Tsukuba Journal of Medical Science

Volume 11, Issue 2 (2015, April)

【目次】

- 【特別寄稿】 平成 26 年度 医療科学類 学位記授与式 祝辞
二宮 治彦 教授
..... 1 - 2
- 【特別寄稿】 平成 27 年度 筑波大学 履修証明プログラム 開講式
(平成 27 年 4 月 12 日 於 筑波大学 4B-209)
二宮 治彦 教授
..... 3 - 4

【特別寄稿】 平成 26 年度 医療科学類 学位記授与式 祝辞

医療科学類 学類長 二宮 治彦 教授

本日、筑波大学医学群医療科学類を卒業していく三十七名の皆さん、卒業おめでとうございます。保護者の方々にも、心よりお祝いを申し上げます。

今日、皆さんは、四年間学んだここ筑波大学を巣立ち、明日からは社会人としての第一歩を踏み出します。四年前、皆さんは医療科学に関する仕事に生涯携わっていきたいという志を胸に、この医療科学類に入学してきました。四年の間には、自分が思い描いていた医療と現実の違いに戸惑ったこともあったかもしれません。修得しなくてはならない知識・技術の多さの前に、呆然(ぼうぜん)としたこともあったかもしれません。しかし、皆さんはその一つ一つを乗り越え、今日、卒業の日を迎えました。その頑張りに心からの敬意と祝意を表したいと思います。

四月からは社会人です。高度で専門的な知識と技術を身に付けた医療人として、それぞれの場所でしっかりと役割を果たしていってくれるものと期待しています。進学してさらに研究を続ける皆さんにも大いに期待しています。

その皆さんに、私は、二つの言葉をはなむけとして贈りたいと思います。今年が国際医療科学専攻からの初めての卒業の年です。Professional(プロフェッショナル)、という言葉と、Amateur(アマチュア)という言葉です。この一見、相反する二つの言葉は共にラテン語に語源をもちます。

「プロフェッショナル」という言葉は皆さんも知っての通り「専門家」という意味ですが、本来の意味は「自分のことを公表する」という意味です。

「自分がいったい何者であるのか、何ができる人間であるかを公に向かって広く宣言する」という事です。人々に知らしめた以上、やるべきことをやらねばなりません。宣言した内容に対しては、常に矜持(きょうじ)をもってあたねばなりません。「プロフェッショナル」とは、すなわち、自分の仕事に対しての生きる姿勢を示した言葉だということが分かります。皆さんにはその本来の意味において、「プロフェッショナル」であってほしいと思います。

「アマチュア」という言葉は、多くは「しろうと」という意味でつかわれていますが、本来は「好きである」という言葉です。人が、何かを選択するときの最初の基準は、いつの時代もどの分野においても、それが好きであるかどうか、という事です。それに魅力を感じたからこそ、それを選ぶわけです。皆さんが多くくの学問分野から医療科学を選び、学んできたのは、皆さんの中ではその意味で必然だった、つまり魅力を感じたからこそ、今日、皆さんはこの場にいるのではないかと思われます。

皆さんには、どうか「プロフェッショナル」を追求するとともに、「アマチュア」の心、「初心」といってもいいかもしれません、その心を持ち続けて欲しいと願います。仕事に対しては、常に専門家の知識と真摯な姿勢をもって取り組むとともに、自分がなぜ医療を生涯の仕事とし、科学(サイエンス)を志向したのか、その初心を持ち続けてくださることを願います。

医療、あるいは、科学の世界は驚くべきスピード

で進化し続けています。常に新しい発見があり、医療機器・技術もよりよいものへ向けた創意工夫が続けられています。これから社会に出て働いていると、恐らく自分の知識の足りなさに愕然(がくぜん)とし、仕事を続けることへの不安すら感じる瞬間(しゅんかん)がくると思います。その時は、どうかまた学びにもどってきてください。

皆さんの今後の活躍が母校である医療科学類の評価を高めてくれるとともに、卒業した皆さんにも継続した卒後教育を提供できる存在となるべく、医療科学類は努力を続けます。

人生は、ある意味で生涯尽きることのない学びの連続です。とりわけ、「プロフェッショナル」と呼

ばれる分野においては、生涯、学び続け最新の知識を求め続けることが必須です。皆さんのこれまでの学びが仕事を通じて社会に還元されることは、社会が皆さんに期待している好循環であり、医療の「プロフェッショナル」たる皆さんの誇るべき姿ではないでしょうか。

「アマチュア」のこころを持ち続け、「プロフェッショナル」として社会で活躍してほしい。皆さんが、今後、実り多き人生を歩むこと、また、豊かな社会の建設に大いに貢献することを確信し、卒業する皆さんへのはなむけの言葉といたします



筑波医療科学 第11巻 第2号	
編集	筑波医療科学 編集委員会 磯辺智範 二宮治彦
発行所	筑波大学 医学群 医療科学類 〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1
発行日	2015年4月27日

【特別寄稿】 平成 27 年度 筑波大学 履修証明プログラム 開講式

(平成 27 年 4 月 12 日 於 筑波大学 4B-209)

医学医療系 臨床医学域 二宮 治彦 教授

本日、筑波大学履修証明プログラム「多職種連携メディカルスタッフ教育プログラム」の履修生としての学習を開始される皆様、おめでとうございます。ご多用中、開講式にご参加くださり、ありがとうございます。

本日、CoMSEP の中心的な事業の 1 つである「履修証明プログラム」の記念すべき初年度の開講式をここに開催できることを、関係する教職員一同、うれしくおもっております。

CoMSEP の履修証明プログラムは、メディカルスタッフとしてすでに社会で活躍している方々の、学び直しの機会を、筑波大学が茨城県立医療大学との連携によって提供し、メディカルスタッフの専門分野の視野の拡大と専門性の深化を目指し、結果として臨床実習における指導能力の充実を目指すプロジェクトです。

初年度にも関わらず、本年のプログラムに多くの方々から関心と賛同をお寄せいただきました。社会人にとっての新たな学びの場を開設できることは誠に意義深いことであるとの自負をもって準備をまいりました。

実は、定員 11 名とする募集要項でしたが、3 倍を超える応募をいただきました。申し訳ないのですが教育の質も大事なので、一部の方々には来年度以降の履修に回っていただくようお願いいたしました。

正直申し上げますと、すでに医療機関でプロフェッショナルとして忙しく働いていらっしゃる方々に本プログラムに参加いただけるのか、不安でありました。しかし、期待以上のご応募をいただいたことで、我々の目指している、生涯の学びとプロとしての視野の拡大とスキルアップというコンセプトは間違っていないという確信ができ、背中を大きく押していただいたように感じております。

本日、入講される皆さんは、すでに十分な資格とキャリアを有して、プロフェッショナルとして働きつつ、さらに学ぼうとする強い意思をもってここにお集まりいただいたの方々です。

誤解を恐れずに言わせていただければ、皆さんはすでに成功者である、と私は思います。人生の成功者であるとともに、医療に携わるヒトとして、成功者です。多くの人々は、日々の忙しさに忙殺され、その日その瞬間を何とか己の持てる全力を出して乗り切っているものです。実は私自身のことです。

それはそれで立派なことですが、心のどこかで、もっと学びたい、もっと違う世界をのぞいてみたい、最新の知識も必要だと感じています。しかし、実際にそのための時間と労力を割くことは、やはりときに、自分自身への負担となって帰ってきます。しかしながら、皆さんはあえてその挑戦を自ら選択しました。その時点において、すでに皆さんは成功者である、と私は思っているのです。

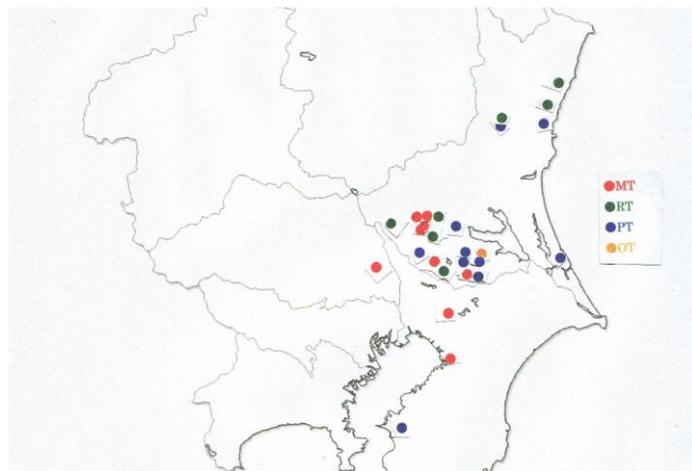
どうか皆さんは、本履修証明プログラムの第1期生として、生涯の学びというコンセプトを拓げていく先駆者となっていただきたいと思います。学びのすそ野を拓げていくことはこれからの時代、これからの医療技術者においても不可欠なことになっていくはずで、そして、将来は働くことと学ぶことを誰もが交互にできる、そんな時代になっていくことを願っています。これまで卒業すれば大学との関係はおわりという感がありましたが、願わくば、筑波大学と茨城県立医療大学はこの履修証明プログラムの開設を通じて新たな貢献をできれば、と願っている次第です。

本プロジェクトはまだ生まれたばかりです。私どもも全力を挙げて、よいプログラムに育てていきたいと考えておりますが、どうか皆さんにも是非そのお手伝いをお願い申し上げます。受講内容・システムについて、忌憚ないご意見をいただき、一年一年より良い形を作り上げたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

皆様にとって、今年が更なる飛躍の年になりますことを祈念しまして、開講式のご挨拶といたします。



平成 27 年度 履修証明プログラム
開講式（平成 27 年 4 月 12 日）
参加 24 名



平成 27 年度 履修証明プログラム
履修生（29 名）
勤務医療機関（MT 11, RT 8, PT 9, OT 1）

筑波医療科学 第 11 巻 第 2 号	
編 集	筑波医療科学 編集委員会 磯辺智範 二宮治彦
発 行 所	筑波大学 医学群 医療科学類 〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1
発 行 日	2015 年 4 月 27 日